

なんぶメール

ご自由にお持ちください

済生会横浜市南部病院 広報誌 2014.1

CONTENTS

- 新春座談会
『地域と共に～明日への医療と福祉を見つめて～』
..... 2 ページ
- 南部病院の循環器内科 4 ページ
- ご存知ですか？多言語医療問診票 6 ページ
- 済生会関連施設のご紹介
済生会南部訪問看護ステーション 7 ページ
- お薬立ち情報 8 ページ
- 食べられない時に食べられるものを見つける
..... 9 ページ
- 地域医療機関のご紹介 10 ページ
- Topics
世界糖尿病デー 11 ページ
がん診療支援センター開設 11 ページ
- イベント情報
(1月から3月) 12 ページ

■ 新春座談会 『地域と共に～明日への医療と福祉を見つめて～』

■ 南部病院循環器内科のご紹介

南部病院の理念

私たちは、医療の質の向上をめざし常に努力します
 私たちは、患者さんの人格、意志を尊重します
 私たちは、地域の要望に対応した医療・保健・福祉サービスの充実を図ります
 私たちは、互いに信頼し、感謝する心で働きます



良質な地域医療・救急医療による地域への貢献を目指しています

社会福祉法人 済生会横浜市南部病院

新春座談会

『地域と共に～明日への医療と福祉を見つめて～』

新年を迎え、港南台を中心とした地域でご活躍されている皆様にお集まりいただき、当院院長と、『地域と共に～明日への医療と福祉を見つめて～』のテーマで地域と南部病院の役割を中心に語り合っていました。

＜座談会出席者のご紹介＞

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 横浜港南台商店会 会長 | 稲村 昌美さん (1995年～現職) |
| 岡田クリニック 院長 | 岡田 賢三さん (1994年、港南台214ビルに開院) |
| 港南台地区社会福祉協議会 会長 | 森 博子さん (2010年～現職) |
| 済生会横浜市南部病院 院長 | 今田 敏夫 (2011年～現職) |
| (司会) 済生会横浜市南部病院 事務局長 | 石渡 雅和 (2010年～現職) |

司 会：新年にあたりまして皆様から自己紹介を含め今年の抱負などお願いいたします。



済生会横浜市南部病院 今田 敏夫 院長

今 田：新年明けましておめでとうございます。今年は午年ということで、馬がたてがみをなびかせながらさっそうと走っていくようなイメージで南部病院も飛躍したいと思っています。

昭和58年6月に開院し、昨年横浜市最初の地域中核病院として開院30周年を迎えることができました。病院がここまで発展できたのも地域の皆様のご支援のおかげです。改めて感謝申し上げます。これからもますます地域との連携を強め、さらに飛躍したいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

稲 村：私は昭和50年に『めじろ』と



横浜港南台商店会 稲村 昌美 会長

『かもめ』団地しかない港南台でフリーニング店を開店しました。基幹病院があるということが港南台の住民にとって心強く、他と比べて暮らしやすく、買い物しやすいのですが、悩みは地域の人口が伸びないことです。

森：私は港南台に引っ越してから33年になります。民生委員として地区センターに関わりながら港南台を見てきて、



港南台地区社会福祉協議会 森 博子 会長

この20年間に少子高齢化になってきています。今の高齢化率は25.7%です。

港南台地域は南部病院を中心として、ケアプラザ、地区センターなどの公共的な施設が整備され、高齢化になっても恵まれた地域だと思っています。

岡 田：平成6年11月から南部病院の



岡田クリニック 岡田 賢三 院長

隣のビルで開業しました。開業するまで、南部病院で何年か勤務しました。最初、南部病院の建設の話があった時医師会は反対したのですが、将来紹介外来

制にしますよと約束して建設された病院なんです。今では医師会としては南部病院は大切な病院となっています。

司 会：港南台は商業と医療と文化が結びついているのが街の特長とよく言われますがいかがですか。

稲 村：港南台の街は南部病院や大型百貨店、港南台駅を核としてその周辺に商業ビルや商店が形成されています。もともと私たちの商店会は商店街といわれるような街が連なっているところは違いますが、皆さんに声を掛け合って地域の方々の要望をうまく取り入れて、他とは違った街づくりと

してきました。『彫刻の設置』や『マロニエの植樹』などもその活動の一部です。街の珍しいところは商売敵であるはずの大型店と一緒に協力して街を盛り上げようとしているところなんです。

岡 田：私のクリニックも最初から栄区の患者さんが多く、その理由を考えると高島屋やバースなどの大型商業施設や港南台駅があるからではないかと思っています。バス便も多いですし、商業の面でも発展しているので、それと合わせて私のクリニックを利用されている方も多いのだと思っています。

司 会：街の活性化がこれからの南部病院の役割にもかなり関わってくると思われますね。

今 田：街の活性化と医療という意味では南部病院は地域医療支援病院としても横浜市で最初に承認され、現在は二次救急拠点病院や小児救急拠点病院の指定も受けています。少子化とされていますが、小児救急を扱っている市内7か所の拠点病院と比べて南部病院の小児救急受入件数は突出しています。

また、お産については今年、市の産科拠点病院に認定されると思いますが、12人の医師がいて24時間体制で対応しています。今年度はNICU(新生児集中治療室)を整備して、年間900件くらいのお産を取り扱うようにしたいと考えています。県立こども医療センターとの連携もしっかりとっていますので、非常に重症な方はそちらで診てもらえる体制となっています。

森：南部病院は産婦人科の医師が増員されて、看護師さんも全員助産師の資格があって、一人ひとりの患者さんの

ことを考えた体制を整えていると聞いています。若い世代にとっても明るいニュースですね。

岡 田：南部医療圏の産科は南部病院が中心になっていますね。医師も増えて、開業医から見ても南部病院の産科はとても充実していると思います。

司 会：高齢化についてもこの地域において例外ではありませんが、医療における南部病院の役割についてはどのようにお考えでしょうか。

今 田：国は地域包括ケアシステムという医療や福祉介護が役割分担して在宅への流れをつくることを提唱しています。南部病院で慢性期の患者さんを良くなるまで診る役割をしようとする、本当に急性期の医療が必要な患者さんが診てもらえないという状況になってしまうんですね。これからはいろいろな病院や診療所が役割分担をし、地域全体で一人の患者さんを治療していかなければならないと思います。

岡 田：高齢化に関して厚生労働省は在宅医療に力をいれようと今度の保険改正でも在宅に手厚くなってきています。今港南台に3人の在宅医がいますが、これから増えていくと思います。病院ではなく在宅で最期を迎えるというようにしていかないと急性期病院が満床になって本当に必要な患者さんが入院できない形になってしまう。在宅診療は増やしていかなければならないと思います。

森：港南台地域はクリニックは多いのですが、在宅医をしていただける診療所は少ないです。南部病院を中心にし

ながら周りに在宅医が増えていったら地域住民としては本当に心強いと思います。

岡 田：在宅診療を行う前段階として、訪問看護ステーションが港南区にも増えています。つまり訪問看護ステーションをお願いして、医者が必要ならば連絡するという形になっていますので、訪問看護ステーションなどの介護保険施設が増えるのは良いのではないかと思います。

今 田：南部病院は急性期病院なので在宅診療は関係ないとしていたら私どもの地域医療の使命は果たせません。自宅のベッドで地域の診療医に診ていただいて、自宅でも抗がん剤の治療等も行えるようなシステムにして、もし救急の処置が必要な状態になったら南部病院で診るとするのが理想です。機能分担をして、うまく連携を取らなければ難しい話ですので、南部病院も地域の診療医と一緒に在宅の患者さんを診ているという密接な関係作りがもっと必要だと感じています。

司 会：最後になりますが、平成26年のスタートにあたり、南部病院に望むことなどがありませんでしたらお聞かせください。

稲 村：少子高齢化時代を迎えて、私たち商店会としても世代交代をして若返りをしていかなければならないのではと心配しています。ここ7～8年、地域で活動している方々と連携をとりながらさまざまなイベントを開催する取り組みを進めて



います。今年は、次の世代にしっかりとバトンタッチできる土壌を創り、スムーズに世代交代していきたいと思っています。

岡 田：南部病院は今田院長に代られてからかなり充実してきていると思いますが、医師会としてはさらなる救急の充実を図っていただきたいと思っています。

森：将来、ますます高齢化していくなかで、私たち一つの病院で医師や看護師さんに診てもらうのは安心ですが、医療現場も社会の変化を受け、高齢化社会に対応するシステムが変わってきたのであれば、私たちもそのシステムを勉強しながら慣れていかなければいけないのかなと思いました。希望通りにいなくても、レールを敷いて頂ければ、私たちも甘えるだけでなく、しっかりと自分たちの知識を身につけていきたいと思ひますし、それを支援するのも港南台地区社会福祉協議会の役割のひとつかなと感じました。

今 田：南部病院は地域の中核病院として救急や災害をはじめ、神奈川県がん診療連携指定病院にもなっていますので、今まで以上に役割を十分に果たすということを念頭に運営していきます。そしてまた社会福祉法人の病院として生活困窮者への支援の取り組みも積極的に推進してまいります。皆様のご指摘の通り、病院は老朽化、狭隘化が進んでいますので、今後再整備についても視野に入れていかなければならないと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

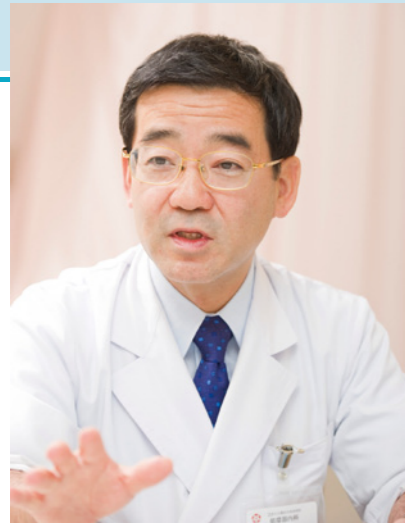
司 会：本日はお忙しい中ありがとうございました。



(司会) 済生会横浜市南部病院 石渡 雅和 事務局長



南部病院の循環器内科 十分な情報を患者 さんに提供し、適切な治療方針を念頭に診療しています



えん と つとむ
猿 渡 力
医学博士

副院長 兼 診療部長 循環器内科部長、
日本内科学会内科認定医・指導医、
日本循環器学会専門医、
日本インターベンション治療学会指導医・専門医、
1986年横浜市立大学医学部卒業。横須賀市立市民病院内科循環器科、
国立循環器病センター心臓内科、
横浜市立大学附属市民総合医療センターを経て
2003年済生会横浜市南部病院循環器内科部長就任。



365日24時間体制で救急救命に対応

循環器内科は、スタッフ8名体制で診療にあたっています。対象となる疾患は、狭心症や急性心筋梗塞、心不全、不整脈などの心臓病と肺塞栓症などの肺動脈疾患です。高血圧症や手足の血管、大動脈の疾患はそれぞれ腎臓高血圧内科、心臓血管外科で診察しています。日常診療では、心臓病の中でも狭心症や急性心筋

梗塞が多く、特に治療に一刻の猶予もできない急性心筋梗塞などの救急疾患の治療に力を入れています。このため当院では常に1名の循環器専門医が夜間休日問わず、1年365日、24時間体制で院内に待機し、緊急を要する治療に対応しています。冠動脈疾患のカテーテル治療は年間約350件、そのうち夜間や休日に緊急で施行する例は80件前後に上ります。

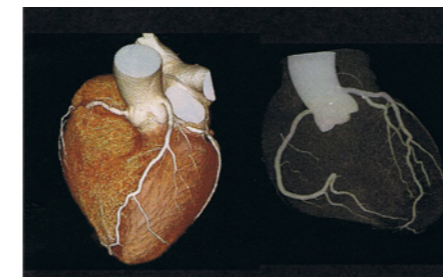
循環器内科医と心臓外科医が密接な連携

当科で日頃から特に心がけていることは、常にそれぞれの患者さんの状態に合った適切な治療法を選択することです。狭心症や急性心筋梗塞は多くの場合、心臓のまわりを囲む冠動脈がつまったり、細くなって起きる病気ですが、その治療法には、カテーテルで治療する方法と手術で血管をつなぐバイパス手術の2つがあり、カテーテルによる治療は循環器内科、バイパス手術は心臓血管外科が担当します。冠動脈疾患の治療では、患者さんの冠動脈の状態によってどちらの治



療法が適切かを慎重に判断する必要があります。例えばカテーテル治療はバイパス手術に比べ、入院が短期間ですみ、麻酔をかける必要もありませんが、複数の場所に病変がある場合や左の冠動脈の根本に病変がある場合、治療効果はバイパス手術の方が優れていることが知られています（このような検討の結果、天皇陛下はバイパス手術を選択されました）。患者さん毎に適切な治療法を選ぶためには、循環器内科医と心臓外科医が常に密接に連絡をとり、一緒に治療法を検討する必要があります。当院は、循環器内科と心臓外科との密接なチームワークがとれていることが特徴の1つで、それぞれの立場から意見を十分に交換した上で、治療方針について患者さんに説明し、患者さんの希望を尊重して治療をすすめていくように努力しています。

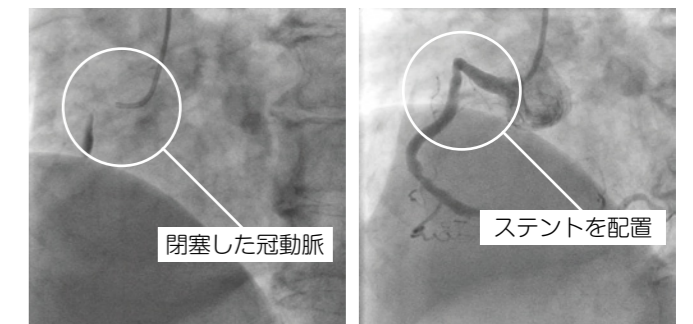
高性能な320列CTによる冠動脈疾患の診療



320列CTで撮影した冠動脈

病気の診断に際しては、なるべく必要性の高い検査のみをするように心掛けています。心臓カテーテル検査のように検査に伴う危険性がゼロとは言い切れない侵襲的な検査については、症状や患者さんが元々持っている病気や安全性の高い様々な非侵襲的な検査の結果を十分に検討した上でその必要性を判断しています。最近では冠動脈を見るために、心臓カテーテル検査をしなくてもCTでかなり正確な情報が得られるようになりました。特に当院では320列CTという冠動脈を見るためのCTとしてはきわめて高性能な装置を導入しており、冠動脈疾患の診療での大きな武器になっています。

経皮的冠動脈形成術（カテーテル治療）



閉塞した冠動脈

ステントを配置

治療前

治療後

不整脈についても多くの患者さんを診療しています。ペースメーカー植え込み件数は年間70件前後で、最近ではカテーテルによる不整脈の治療や、致命的な不整脈に備える植え込み型除細動器の植え込みも開始しています。

どのような疾患の治療でも、大切なことは、十分な情報を患者さんに提供した上で、患者さんの希望を尊重して適切な治療方針をとることであることを、常に念頭において日々の診療をしています。



ご存知ですか？

多言語医療問診票



もし、皆さんが外国で病院にかかる事態になったらどうでしょう。かなり不安を感じるのではないのでしょうか？在日外国人は易しい日本語は話せても、日本語を読めない人が多いのです。

そんな在日外国人を支援したい！と立ち上がったのが港南台にあるNPO法人国際交流ハーティ港南台（以下ハーティ）です。この団体で活動している南部病院中央検査部の新宮千恵美さんとハーティの小野里純子名誉会長に多言語医療問診票について紹介いただきました。

◀ スペイン語の問診票（内科）
ハーティの多言語医療問診票は全国の病院で使われている

多言語医療問診票ってなんだろう…？南部病院とどういつながりがあるの？

20年前に病気を患っていた日本語が話せないジーンさん（ニュージーランド出身）を助けたい思いから在日外国人を医療面で支援する必要性を感じ、生まれたのが多言語問診票です。この問診票をつくるために、南部病院には基となる各科問診票を提供してもらいました。また、現場の声を問診票に取り入れるためにお話を聞いたり南部病院をはじめ近隣のクリニックにもお世話になりました。おかげで1995年には問診票を5言語に翻訳することができました。（小野里）

多言語医療問診票は誰でも見られるの？誰でも使えるの？

現在、南部病院でも電子カルテに多言語医療問診票が掲載されて、いつでも先生が使えるようにしてあります。今後南部病院と地域がつながるツールのひとつに多言語医療問診票が役立っていきそうですね。（新宮）

南部病院でも多言語医療問診票は使っているの？



NPO法人港南台ハーティの皆さん
右から会長・加藤さん、名誉会長・小野里さん、南部病院・新宮さん、問診票担当・横溝さん、飯高さん

済生会関連施設のご紹介

済生会南部訪問看護ステーション



南部訪問看護ステーションは、訪問看護・居宅介護支援・療養通所の3事業を行っております。職員は看護師25名、ケアマネジャー6名（専任2名、兼務4名）、理学療法士1名、ヘルパー3名、事務員3名、運転手1名、ハウスキーパー1名の36名で、医療機関や地域・多職種との連携を図りながら、利用者様及びご家族の人格・意思を尊重し、その人らしい生活が安全安楽に送れるよう支

援しています。訪問看護というと、医療行為のイメージがあるかもしれませんが、それだけではなく、皆様との出逢いそしてつながりを大切に、利用者様の喜びや生きがいに繋がる看護を提供できるよう、努力しております。利用者様やご家族の笑顔が、私たちの元気の源です。

南部訪問看護ステーション所長 星野 早苗

訪問看護 人とのつながり



小林 勇さん 76歳
でリハビリを兼ねて作り始めました。はじめは大きな草履を作っていたのが、持ち運べるミニ草履を作るようになり、気が付いたら5年間で2,000足以上製作していました。物を作るのが好きで他にもどんぐりやカメのキーホルダー、ご当地キャラクターの切り絵などそれぞれ1000点以上は作りまし

訪問看護を利用している小林さんは14年前に患った病気が原因で体にまひが残り、箸も持てない車いすの生活になりました。リハビリとして始めた小物づくりがいろいろな方に変えられていると聞き、訪問看護をしている内矢さんと一緒にお伺いしました。

昔おじいさんが作っていた草履の作り方を覚えていたのが、持ち運べるミニ草履を作るようになり、気が付いたら5年間で2,000足以上製作していました。物を作るのが好きで他にもどんぐりやカメのキーホルダー、ご当地キャラクターの切り絵などそれぞれ1000点以上は作りまし

た。今は親指と人差し指の2本しか動かないので、作品づくりに使うはさみを自分用に改良して、細かい作業もできるように工夫しています。作ったミニ草履は足が良くなるお守りに、カメは長生きのお守りに、老人会へ持っていくと、とても喜ばれます。看護学生にも配って、国家試験に持って行ったと手紙をもらったこともありました。いつもどんぐりや紙を内矢さんが

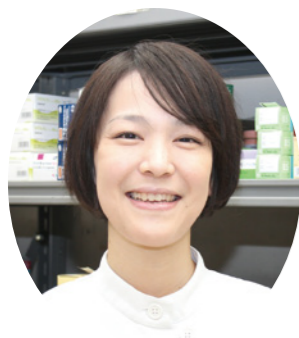


担当看護師の内矢さんから

小林さんは、国内患者数の推定300～400人とされている希少疾病の影響で、手足が痺れたり、上手く動かすことができません。自分と同じように手足の不自由な人や、病気で苦しんでいる人に、「勇気や元気を与えたい」と願い、病氣と闘いながら手作り小物を

作成してくれています。これからも、小林さんの体調管理とともに、生きがい、喜びを感じ、小林さんらしく生活していけるよう、特技を最大限に発揮し、他者との交流を図れる環境作りを支援していきたいと思ひます。
看護師 内矢 奈緒美





薬剤師 山口 文子

「花粉症対策、早目がポイント！」

くしゃみに鼻水、目のかゆみ。花粉症の季節が近づくと、憂鬱な気分になる人も多いはず。春を楽しくすごすために、予防と対策をしっかり行いましょう。今回は、花粉症の薬についてご紹介します。

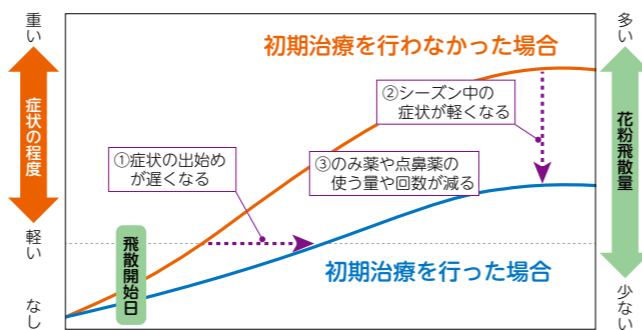


【花粉症とは?】

花粉症とは、体内に取り込まれた花粉成分の刺激によって体内にある「肥満細胞」の膜が破れ、ヒスタミンやロイコトリエンと呼ばれる化学伝達物質（かゆみ関連物質）が飛びだしてしまっただけに引き起こされるアレルギー反応です。飛び出した化学伝達物質が、神経や粘液の分泌腺、血管などにある「受容体」にくっつくことでくしゃみ、鼻水、涙目などのあらゆる症状が起こります。

【なぜ、早目の対策がポイント!?!】

花粉が飛散する時期の2週間程前から花粉症の治療（初期治療）を行うと、「症状の始まりが遅くなる」「症状が軽くなる」「薬の使用量や回数が減る」などの効果があります。花粉の飛散開始時期を忘れずにチェックしましょう。



【花粉症の治療薬】

●内服薬（のみ薬）

抗ヒスタミン薬

かゆみ成分であるヒスタミンの働きを防ぎます。くしゃみや鼻水が主症状である場合によく使用され、数日で効果が現れます。しかし、眠くなる、口が渇くなどの副作用を引き起こす場合があります。最近はそのような副作用が少ない薬も開発されています。

抗ロイコトリエン薬

かゆみ関連物質であるロイコトリエンの作用を抑えます。鼻粘膜の血流を改善する効果があり、鼻閉が主症状の場合によく使用されますが、鼻汁、くしゃみの改善効果もあります。内服を始めて1～2週間で効果が現れます。

化学伝達物質遊離抑制薬

肥満細胞の膜が破れるのを防ぎ、花粉症の症状を抑えます。内服を始めてから2週間程度で効果が現れます。副作用は少なく、くしゃみや鼻汁が主症状の場合によく使用されます。

ステロイド薬

主に、炎症反応を抑えることでアレルギー症状を改善します。どのタイプの症状にも効果がみられますが、全身性の副作用が現れる場合があるので長期間の使用はできません。

●点鼻薬

ステロイド薬と血管収縮作用をもつ薬があります。ステロイド薬は鼻閉によく使用されますが、くしゃみや鼻汁の改善効果もあります。1～2日で効果が現れ、長期連用しても全身性の副作用が少なく安全性の高い薬です。血管収縮薬は、粘膜の血管を収縮させて粘膜の腫れを取り除くことで鼻づまりに効果を示します。使いすぎると鼻づまりが強くなるときもあるため、1日1～2回で使用するのが基本です。

●点眼薬（め薬）

眼の痒み、充血、涙目などの症状に抗ヒスタミン薬や化学伝達物質遊離抑制薬が使用されます。症状がひどい時にはステロイド薬が使用されることがありますが、緑内障や感染などに注意して慎重に使用する必要があります。

食べられない時に食べられるものを見つける



管理栄養士 志波 郁子

1. はじめに

病気や治療により食事が十分に摂れない時は本当に辛いものですね。日頃から、食べられない時の非常食を考えておくといいでしょう。今回はそのヒントをご紹介します。

- ① 日頃より商品に記載されている「栄養成分表示」を見る習慣を持ち、少量でエネルギー量の多い食品を探しておく
- ② 当院の売店で販売している各種栄養補助飲料・食品を利用してみる
- ③ 栄養相談や看護相談等で、高栄養食品や介護用食品の紹介や購入方法の説明を聞いてみる

2. 食べられない時の考え方

- ① 食事が摂れないときでも、水分は必要なので、水分を十分に摂る
- ② 食事の形態にこだわらず、食べられるもの、食べたいと思うものを摂る
- ③ 固形物ではなく、果汁やスープのような液体で食事を摂ることを試してみる



3. 当院がんサロン「ももの会」での商品の紹介と試食

10月の会で少量で高エネルギーのお菓子と新製品の濃厚流動食をご紹介します。試食していただきました。濃厚流動食とは「各栄養素の配分が良く、1kcal/mL以上のエネルギーを有する消化の良い流動食」で、鼻や胃瘻などの経管栄養に利用されますが、経口摂取もできます。多種類が存在しますが、店頭では殆ど販売していません。しかし、今回ご紹介したものは当院売店で購入できます。

洋菓子「横濱白煉瓦」

箱の栄養成分表示には1個267kcal!!
小さいのにご飯大盛1杯のエネルギー量があります。紅茶と共に召し上がり下さい。



粉末状の濃厚流動食

「リカバリーSoup」

1袋で150kcal
(普通の粉末スープの2倍のエネルギー量があり、ビタミン・ミネラルが豊富です)。えんどう豆、コーン、かぼちゃの3種類の味があります。水、湯、牛乳100mLに溶かして飲んで下さい。



濃厚流動食

「もあカップ」

1カップ125mLで200kcal!!
(ごはん1膳分のエネルギー量に相当) あずき、バナナ、コーヒの3種類があります。ストローがついているので「飲む点滴」と思って、ゆっくり飲んで下さい。ももの会ではあずき味がおいしいとのことでした。



「ももの会」でのおやつと新製品の濃厚流動食

4. 当院売店の商品を利用する

当院の売店には患者さんのために濃厚流動食、ビタミン・ミネラル補給飲料等の栄養補助食品を各種取り揃え、販売しています。



食事が摂れない時に利用してみたいか? ご利用の方法はこちらをご覧ください。

南部病院ホームページ▶栄養部

<http://www.nanbu.saiseikai.or.jp/post/nutrition/index.html>

飲み物コーナーの各種栄養補助飲料

「ポチプラス」(75kcal)
「すいすい」(160kcal)
「もあカップ」(200kcal)

レジ脇の栄養補助食品コーナー
おじゃ、高エネルギーのスープ、ジュース



地域連携医療機関 のご紹介

Vol.2

済生会横浜市南部病院では、患者さんの健康と安心を、地域連携登録医及び病院の医師が、一緒に見守っていきます。

港南区 医療法人社団 岡田クリニック



院長 岡田 賢三 先生

地域のかかりつけ医として、温かな医療を通じて元気で健やかな生活のサポートを目指しています。

診療の際に治療内容を患者様に理解してもらい、納得のうえ治療を行うことが大切だと考えております。

不安や疑問などがあれば些細なことでもなんでもお聞きください。

連携病院も多いので、必要に応じて患者様のご希望する病院や、患者様に最適な病院を紹介致します。

《診療科目》

内科、胃腸科、肛門科、外科（乳腺・甲状腺）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	-	○	○	-
15:00~18:00	○	○	○	-	○	-	-

休診日：木曜日、日曜、祝日、土曜日は9:00~13:00
※診療開始30分前より受付をしております。



〒234-0054
横浜市港南区港南台 3-3-1 港南台 214 ビル 203 号
電話：045-834-3333
URL: <http://www.okada-clinic.org/>

港南区 医療法人 堀越医院



院長 堀越 秀昭 先生
副院長 堀越 秀典 先生

「気軽に相談できる病院」
横浜市港南区にある堀越医院は

1. 地域に根ざした診療
2. 病気に関してはもちろん、病気以外のことも気軽に相談できる
3. 医者からのおしつけではない患者様主導の医療

当医院での診療は、プライマリケア（初期治療）が中心となっております。専門の治療および検査が必要と判断した場合には専門医がいる診療所、病院を紹介させていただきます。なお、セカンドオピニオンにも対応させていただきます。

頭が痛い、お腹が痛いなどの不調を感じたときは、お気軽にご相談ください。

《診療科目》

小児科、耳鼻咽喉科、内科、外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	-
14:00~18:00	○	○	○	-	○	-	-

休診日：木曜・土曜日午後、日曜、祝日
※PC・携帯からインターネット予約をご利用ください。



〒233-0007 横浜市港南区大久保 2-16-37
TEL/FAX 045-842-4903
URL: <http://www.horikoshi-clinic.com/>

南部病院トピックス Topics

写真で見るイベント紹介

世界糖尿病デーをきっかけに あなたも糖尿病について考えてみませんか？

毎年11月14日は世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動が行われます。当院でも世界糖尿病デーに合わせてイベントを開催しました。



糖尿病・内分泌内科医長
高橋 まゆみ 医師より

糖尿病は、インスリンの作用不足により、血液中にブドウ糖が増え、全身の血管を障害する病気です。自覚症状に乏しいため、健診で初期の糖尿病を指摘されても、医療機関を受診する人は少ない現状です。その結果、高血糖状態が続くと、失明、維持透析導入、足壊疽による下腿切断など、生活の質を低下させてしまう合併症がおこります。毎年11月14日世界糖尿病デーに当院では簡易血糖測定やミニ講座を行い、啓発活動をしています。

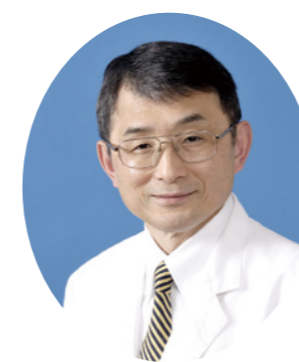


がん診療充実のために

がん診療支援センターを開設しました

日本では現在3人に1人ががんで亡くなられています。そのため平成18年にがん対策基本法が制定され、それに基づきがんの予防および早期発見の推進、がん医療の均てん化の促進、研究の推進が図られています。

当院は平成25年4月に神奈川県がん診療連携指定病院に指定されました。それに伴い医療の情報共有と高度医療の提供、がん診療体制の充実および地域との連携活動を推進することを目的としてがん診療支援センターを設置しました。



がん診療支援センター長
池 秀之 医師



運営方針

- ① 高度医療から緩和医療までの集学的治療
- ② 診療体制の充実
- ③ 切れ目のない医療を行うための地域連携
- ④ 情報提供
- ⑤ 研修会の実施
- ⑥ 臨床研究の推進を図ること

構成メンバー

医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、中央放射線技師、中央検査技師、診療情報管理士、事務職



院内外のがん診療をサポートし、患者さんや地域医療機関に信頼していただけるようながん診療を行えるように取り組んでいきます。

南部病院ホームページ▶がん診療支援センター

http://www.nanbu.saiseikai.or.jp/post/treatment_cancer/index.html

イベント情報 (1月から3月)

※済生会南部地域医療福祉連携事業に伴う各施設(南部病院、若草病院、港南台地域ケアプラザ、六浦地域ケアプラザ、能見台地域ケアプラザ)の「医療講座」情報を掲載しましたので、どうぞご参加ください。

南部病院

お問い合わせ TEL: 045-832-1111(代)
経営企画課広報担当

【第130・131回 南部病院コンサート】

ニューイヤーコンサート

日 時: 1月18日(土) 午後2時~午後3時
場 所: 南部病院1階 待合ホール
出 演: ハミングバース、阿部みどりさん

Kotoグループさざなみ

日 時: 3月8日(土) 午後2時~午後3時
場 所: 南部病院1階 待合ホール
出 演: kotoグループさざなみ



※2月は病院行事のためコンサートはお休みです

港南台地域ケアプラザ

お問い合わせ TEL: 045-834-3141

【南部病院健康教室】

テ - マ: 腰痛予防のトレーニング
~腰痛予防に重要な深部体幹筋の機能と強化法について~
日 時: 2月1日(土) 午後2時~午後3時30分
場 所: 港南台地域ケアプラザ多目的ホール
講 師: 南部病院 リハビリテーション科 理学療法士 鈴木 遼
定 員: 先着50人(申込制)

南部病院からのお知らせ

1月20日(月)から耳鼻咽喉科外来が移転します

◀移 転 先▶

・耳鼻咽喉科外来・・・1階総合受付横

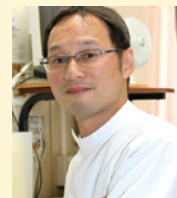
『急性期病院から在宅へ』の要約集を差し上げます

特集した新春座談会で話題になっていました『急性期病院から在宅へ』をテーマにして昨年、南部病院開院30周年記念市民公開講座が行われました。済生会横浜市南部病院の役割、南部病院から在宅への流れについて、講演とパネルディスカッションで分かりやすく説明したものを要約集(A4判カラー36ページ)にしました。ご希望の方先着100人の方にこの要約集を差し上げますので、南部病院経営企画課広報担当(045-832-1111)、訪問看護ステーション(045-833-0055)又は港南台地域ケアプラザ(045-834-3141)へお問い合わせください。

南部病院市民公開講座

【おしっこで悩んでいませんか?】

日 時: 3月15日(土) 午後2時~午後3時30分
場 所: 磯子区役所 7階会議室
講 師: 泌尿器科部長



鈴木 康太郎

※入場無料・申込不要・先着100人
※会場に直接ご来場ください

お問い合わせ: 南部病院 地域医療連携室
TEL 045-832-1111(代)

横浜市能見台地域ケアプラザ

お問い合わせ TEL: 045-787-0991

【医療講座】

テ - マ: 心臓病とその予防について
日 時: 1月31日(金) 午後3時~午後4時30分
場 所: 横浜市能見台地域ケアプラザ多目的ホール
講 師: 済生会若草病院 循環器内科部長 吉田 圭子

テ - マ: COPD(慢性閉塞性肺疾患)と喫煙の危険な関係
日 時: 2月18日(火) 午前10時30分~正午
場 所: 横浜市能見台地域ケアプラザ多目的ホール
講 師: 神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 小松 茂

テ - マ: 訪問医療・看護の利用について
日 時: 3月13日(木) 午後3時~午後4時30分
場 所: 横浜市能見台地域ケアプラザ多目的ホール
講 師: 済生会若草病院 医療支援部課長 沼田 さつき

横浜市六浦地域ケアプラザ

お問い合わせ TEL: 045-786-8801

【医療講座】

テ - マ: 薬とサプリメントの基礎知識
日 時: 2月25日(火) 午後2時~午後3時30分
場 所: 横浜市六浦地域ケアプラザ多目的ホール
講 師: 済生会若草病院 薬剤部 曾賀 泉

南部病院の基本方針

- 良質な地域医療、救急医療による地域への貢献
- 他の医療機関との密接な連携と、患者さん中心の医療の実践
- 医療・保健・福祉サービスの総合的な提供
- 地域医療関係者及び職員の相互研鑽

編集後記

なんぶメール第4号では新年の発行ということもあり、地域で活躍される方をお招きして新春座談会を開催しました。皆さんのお話しをお聞きして南部病院がこんなにも地域に根付いているということに改めて実感しました。

今年の冬は例年より寒いと長期予報が出ています。『循環器内科・猿渡部長』にお話しいただいた狭心症や心筋梗塞などは寒さが影響しますので、皆様くれぐれもご注意ください。ご期待いただきたいと思います。「なんぶメール」を本年もよろしくお願いたします。



社会福祉法人 済生会横浜市南部病院

〒234-8503 横浜市港南区港南台 3-2-10
TEL: 045-832-1111 (代表)
FAX: 045-832-8335
発行人: 院長 今田 敏夫
編 集: 南部病院広報委員会 平成26年1月発行

